

のぞいてみよう！**せんだいの歴史**

暮らし編

明治時代の仙台市内の小学校

仙台市博物館 学芸普及室 村上 聡

第6回

来年で開校百五十周年

「本校は、来年で百五十周年を迎えます。」仙台市内のいくつかの小学校の前に、このような横断幕が掲げられているのをご覧になったことはありませんか？

かつて明治政府は、国の近代化を図るためには教育の充実が重要であると考え、明治五年（一八七二）に「学制」を定め、全国に「学校」の設立を始めました。今回は、その頃に設立された仙台市内の小学校の様子を紹介します。

小学校の誕生

「学制」の趣旨は、身分を問わず全国民が教育を受けることが、国力の充実につながるというものでした。「学制」に基づき、明治六年（一八七三）の現仙台市域には、三十七の小学校と三つの分校が設立されました。設立当初の小学校の多くは、寺院や個人宅を間借りしたものでした。冒頭に紹介した来年百五十周年を迎える小学校は、この時に設立された学校です。

明治時代の小学校

明治時代はじめての小学校の仕組みは、現在とは大きく異なっていました。例えば、現在の小学校の修業年限は六年ですが、これは戦後の教育改革後からです。小学校が設立された当初の修業年限は、下等小学四年（六歳から九歳）、上等小学四年（十歳から十三歳）の計八年とされてきました。

また、進級するための試験制度が詳細に定められていて、小学校であっても試験をパスしないと進級することができませんでした。

さらに、現在は無償の教育費も、保護者負担が原則でした。例えば、小田原小学校（現在の東六番丁小学校）の授業料は、一カ月あたり三銭（現在のお金に換算して六百円ほど）でした。

明治時代の教科

明治時代はじめての小学校の教育内容は、政府が定めた、「修身（現在の「道徳」の前身）」「算術」「読書」「作文」「習字」「体操」の六教科で、これに図画と唱歌を加

えることができました。その後、幾度かの変更を経て、明治三十三年（一九〇〇）に「修身」「国語」「算術」「体操」の四教科に整理され、この時はじめて、おなじみの「国語」という教科が誕生しました。

今も残る「雅号」の名残

小学校が設立されてから数年後、県令からの通知もあって、一部の小学校では、「知新」（現在の荒町小学校）「至誠」（現在の六郷小学校）のように、漢籍（中国の古典）を根拠とする「雅号」に、校名を改める動きがありました。これは当初、欧米を模範として始まった教育から、わが国で行われてきた儒教的な教育への回帰を意味しているとも言われています。ほどなくして、「雅号」を用いた校名は元の地名等に変更されましたが、校名として使われた言葉は、現在も各校の教育目標などの中に、大切に受け継がれています。



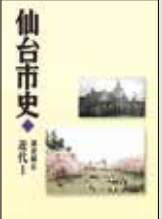
写真 明治初期に知新小学校（現在の荒町小学校）で使われた教科書

仙台市史 全32巻

原始から平成元年までの仙台の歴史をわかりやすく紹介！

「通史編」のほか、古代から現代までの歴史資料で構成される「資料編」、特定のテーマを詳しく掘り下げた「特別編」、「年表・索引」があります。

ピックアップ紹介



通史編6 近代1

A5判/オールカラー/513ページ 3,143円(税込)

明治時代を迎え、変わりゆく仙台のようすを豊富な図版とともに紹介しています。「学都仙台」の形成や当時の教育制度など、上記で取り上げた学校教育の歴史についても知ることができます。



既刊紹介や購入方法は博物館ホームページでご案内しています。

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM

▶博物館ホームページ ▶博物館ツイッター

仙台市博物館 @sendai_shihaku

検索

▶お問い合わせ

〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) TEL:022-225-3074 8:30-17:15 ※土・日・祝休日を除く

※当館は現在、大規模改修工事のため休館しています。令和6年4月に再開予定です。